

# **令和2年度外部評価報告書**

**令和 4(2022)年 3 月  
十文字学園女子大学**

## はじめに

十文字学園女子大学では、中期目標・中期計画及び年度計画を策定し、これを自己点検・評価の基準として、毎年自己点検・評価を行うこととしています。この点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、大学評価ならびに高等教育の在り方について高い見識をお持ちの産官民学各分野の有識者に外部評価委員へご就任いただき、本学の教育研究及び社会貢献活動全般への助言をいただいています。

令和3年度は、大学機関別認証評価を公益財団法人日本高等教育評価機構で受審いたしました。令和2年度受審を目指しておりましたが、学部改組の準備と重なってしまうため、1年受審を遅らせました。コロナウイルス感染症の影響により、実地調査がオンラインでの実施となるなど、7年に1度のこととはいえ、イレギュラーな対応をせざるを得ませんでした。受審結果といたしましては大きな指摘もなく、「適合」の評価をいただくことができました。これも日頃より外部評価委員のみなさまから貴重なご意見・ご助言の賜物だと感謝しております。

また、令和3年度は、第二期中期目標中期計画の最終年度であり、第三期の中期目標中期計画を策定する年度でもございました。外部評価委員会からのご意見や認証評価等の結果も踏まえて案を作成いたしました。次年度にかけて、第二期期間の総括等行ってまいりますので、引き続き、ご意見等を頂戴できればと存じます。

外部評価委員の方々におかれましては、本学の自己点検評価書ならびにそれに付随する資料の事前点検と外部評価委員会における討議や質疑応答により評価作業に当たっていただいております。いただいたご意見やご提言は、本学の基本理念や使命・目的の更なる実現に向け、今後の教育研究等の改善に役立てる所存です。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらず、本学のために労をいとわずご協力いただいた外部評価委員各位に心より感謝申し上げます。

令和4年3月

十文字学園女子大学  
学長 志村 二三夫

## 目 次

### I 外部評価委員名簿

### II 外部評価委員会による評価

### III 参考資料

#### 1. 外部評価委員会規程

#### 2 外部評価委員会議事概要

①第 15 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要 (案)

②第 16 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要 (案)

## I 外部評価委員名簿

【令和2年度～令和3年度】

氏名	職名	総会
アキタ キヨミ 秋田 喜代美	学習院大学 文学部 教授 東京大学大学院教育学研究科 名誉教授	○
イワナガ マサヤ 岩永 雅也	放送大学 学長	○
オオツカ ユウサク 大塚 雄作	独立行政法人大学入試センター客員教授 京都大学名誉教授、大学入試センター名誉教授 国際医療福祉大学大学院 特任教授	○
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長	○
キムラ マユト 木村 眞琴	株式会社ニコン 相談役	○
ササキ マサミネ 佐々木 正峰	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 前理事長、 国立科学博物館 顧問、元文化庁長官、本学園顧問	◎
スミヨシ ヒロユキ 住吉 廣行	松本大学 名誉学長・名誉教授	○
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 教授・図書館長 (学校法人藤村学園 評議員)	○
ハギノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社代表取締役社長	○

※50 音順

※◎は座長

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、令和3年4月に委員委嘱（更新）を行った。  
(全員継続)

※職名は令和3年度のもの

## Ⅱ 外部評価委員会による評価

### (1) 総括

十文字学園女子大学は、総じて順調であると評価する。

### (2) 優れた点及び今後期待する事項

- ・分散登校ハイフレックス型の授業形態は、非常に素晴らしい方法だと思う。授業はもちろん大事だが、学生同士が対面で関わり合えるのが大学の素晴らしいところであり、それを実現している。
- ・分散登校ハイフレックス型を実現できたことはもちろん、ウイルス対策を図った上で学生を迎えるというような授業が継続して行われてきたことは素晴らしい。大規模大学であると実現が難しいので、適正な規模の大学であったということが大きい。また隔週に登校できるということは、学生にとっては非常にプラスになったのではないかと。教員は、対面の授業の準備もしつつ、リモートの準備もしなければならないので大変だったと思うが、コロナ禍を乗り切るための1つの方策としては、非常に適切な方法であったと考える。
- ・パソコンを所持していない学生には貸与を行い、学生全員に一律、緊急支援金の給付をしたこと、またICT環境設備も整えて、ハイフレックス型の授業を展開し、学生に学びの環境を確保できたのは素晴らしいと思う。

### (3) 参考意見

- ・令和2年度は、危機管理として、予想外のことに對して大変適切な対応ができています。ただし、2年目になると常態化し、おそらく学生からも様々な要望がでてきて、評価は厳しくなるだろう。一方で教員の不慣れなストレスは改善されてくると思う。ハイフレックス型の中でも教員からの指示や対応に、異なる点のあることが、学生にとってはかなりのストレスのようである。十文字は、概ね、授業内容や指導方法が統一化されているように感じたが、以上のことを留意すると良いのではないかと。
- ・今後もリモートの授業が続いていく中で、資料がどういう風に学生にとって読みやすく、分かりやすく出来ているかによって、授業の印象がだいぶ変わると思う。そういった意味で、先生方のスキルの問題について、プラス、マイナスと色々な面がある中で、大学側として、充分サポートできるような組織体制が必要であると思う。
- ・コロナ禍でのインターンシップ実施は、難しい課題なのかもしれない。開拓する際、企業に面識がないとハードルは上がるかもしれないが、例えば、商工会議所を通じて、1度に10社程度紹介してもらったりする方法も良いのではないかと。

### Ⅲ 参考資料

#### 1. 外部評価委員会規程

##### 十文字学園女子大学外部評価委員会規程

平成25年9月18日規程第138号

平成25年9月18日制 定

平成31年4月1日最終改正

##### (設置)

第1条 十文字学園女子大学(以下「本学」という)に、十文字学園女子大学大学評価規程第3条第1項第三号及び第10条に定める外部評価を実施する機関として、十文字学園女子大学外部評価委員会(以下「委員会」という)を置く。

##### (目的)

第2条 委員会は、本学が実施した自己点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、学外者による検証及び評価を行う他、教員評価や教育研究及び社会貢献活動全般への助言を行う。

##### (組織)

第3条 委員会は、若干名の委員をもって組織する。

2 委員は本学の設置目的について理解のある学外の学識経験者等から、学長が選考し、委嘱する。

3 学長は、委員を委嘱した場合、委員の氏名・職名等を、速やかに自己評価委員会に通知するとともに、公表する。

##### (任期)

第4条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

##### (外部評価の実施)

第5条 委員は、本学が実施した自己点検・評価の結果を第2条の規定により検証し、優れた点及び改善を要する事項等を意見して、評価を付す。

2 事務局は、前項に定める委員の意見及び評価を外部評価報告書にまとめ、委員会の了承を得なければならない。

3 学長は、前項に定める委員会の了承後、外部評価報告書を自己評価委員会に報告する。

##### (事務)

第6条 委員会の事務は、企画評価部企画評価課が行う。

##### (雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

2 各部局が実施した自己点検・評価の結果についての外部評価は、この規程を準用し、部局毎に行う。

##### (規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、自己評価委員会の議を経て、教授会に報告しなければならない。

##### 附則

1 この規程は、平成25年9月18日より施行する。

2 第4条の規定にかかわらず、この規程の施行後、最初に委嘱される委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

附則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

## 2. 外部評価委員会議事概要

### ①第15回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要（案）

日 時：令和3年3月31日（水）13:30～16:00

場 所：十文字学園女子大学7号館6階会議室およびZoomウェビナーでの開催

出席者：74名

〈外部評価委員〉佐々木委員（座長）、岩永委員、大塚委員、金子委員、木村委員、住吉委員、田中委員、萩野委員

〈法 人〉 十文字理事長、十文字副理事長、岡林本部長

〈大 学〉 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、安達教育担当副学長、岡本事務局長、井上企画評価部長（司会）、樫本企画評価部次長、瀬川企画評価課長、大割企画評価課員、近藤学術情報部長

〈陪 席 者〉 副学長、学部長、学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長・課長 他

（以下、敬称略）

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

#### 1. 第14回外部評価委員会議事要旨（案）について

佐々木座長から第14回外部評価委員会議事要旨（案）について確認があり、承認された。

#### 2. 令和元（平成31）年度 外部評価報告書（案）について

佐々木座長から令和元（平成31）年度 外部評価報告書（案）について確認があり、承認された。

#### 3. 新型コロナウイルス感染症対策の状況 について

齋藤健康管理センター長から新型コロナウイルス感染症対策の状況について、また安達副学長から本学対策の教育学術新聞での掲載について説明があり、意見交換を行った。

#### 4. 内部質保証の方針および実施体制について

資料4-1 十文字学園女子大学 内部質保証の方針及び実施体制、及び資料4-2 内部質保証に関する学内体制（図）に基づき説明があり、意見交換を行った。

#### 5. 後期授業形態に関するアンケート（分散型・遠隔）結果について

資料5-1 2020年度 後期 後期分散型授業・遠隔授業に関するアンケート集計（学生対象）、資料5-2 2020年度 後期授業に関するアンケート集計（教員対象）に基づき説明があり、意見交換を行った。

#### 6. 在学生・卒業生に対するアンケート結果について

資料6-1 学生アンケート集計、資料6-2 卒業時アンケート集計、及び資料6-3 卒業時アンケートの集計結果に基づき説明があり、意見交換を行った。

#### 7. その他

コロナ禍における入試の状況の質問があり、以下の通り回答があった。

(回答) 令和2年度の入学者は、募集定員920名を若干上回る約940名であった。12月までの入試(総合型選抜と学校推薦型選抜)での入学者は、昨年よりも大きく近く伸びたが、年明けの入試の志願者が激減した。学科によってバラつきがあり、トータルとして定員プラス数パーセント上乘せという結果となった。

志村学長より謝辞があった。最後に事務局から来年度以降の委員会についての事務連絡があり、閉会となった。

以 上

## ②第 16 回十文字学園女子大学外部評価委員会議事概要（案）

日 時：令和 3 年 9 月 6 日（月）14:00～16:40

場 所：十文字学園女子大学 7 号館 6 階会議室および Zoom ウェビナーでの開催

出席者：70 名

〈外部評価委員〉秋田委員、岩永委員、大塚委員、金子委員、木村委員、佐々木委員（座長）、住吉委員、田中委員、萩野委員（五十音順）

〈法 人〉 十文字理事長、十文字副理事長、岡林法人本部長

〈大 学〉 志村学長、綿井企画担当副学長兼学長補佐、安達教育担当副学長、岡本事務局長、井上企画評価部長（司会）、近藤学術情報部長、樫本企画評価部次長、瀬川企画評価課長、大割企画評価課員

〈陪 席 者〉 副学長、学部長、学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長・課長 他

（以下、敬称略）

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

### 1. 第 15 回外部評価委員会議事要旨（案）について

佐々木座長から第 15 回外部評価委員会議事要旨（案）について確認があり、承認された。

### 2. 令和 2 年度自己点検・評価報告書案（案）について

綿井副学長から令和 2 年度 自己点検・評価報告書（案）について説明があり、意見交換を行った。

### 4. IR データ（休退学状況等、卒後進路）について

時程の関係で、委員会において意見交換をしなかった。結果に関する外部評価委員の意見については、メールで受けることとし、その後にフィードバックをするという流れで進めることを承認した。

### 5. 第三期中期目標・中期計画の策定について

綿井副学長から第三期中期目標・中期計画に関する私案について説明があり、意見交換を行った。

十文字一夫理事長より謝辞があった。最後に事務局から次回の委員会についての事務連絡があり、閉会となった。

以 上